令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果の概要

4月に行われた、全国学力学習状況調査につきまして、本校の結果に伴う概要がまとまりましたので、ご報告いたします。

【中学校 国語】

本校の概要

学習指導要領の領域等

- ◎「言葉の特徴や使い方に関する事項」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「話すこと・聞くこと」の平 均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「書くこと」の平均正答率 ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「読むこと」の平均正答率・全国平均に比べ、上回っている。

今回の調査における課題

- ◆「知識・技能」の課題 ・「言葉の特徴や使い方 に関する事項」で、事象 や行為を表す語彙につ いて理解すること。
- ◆「話すこと・聞くこと」 の課題
- ・自分の考えが明確になるように、論理の展開に注意して、話の構成を工夫すること。
- ◆「書くこと」の課題 ・目的に応じて、集めた 材料を整理し、伝えたい ことを明確にすること。
- ◆「読むこと」の課題 ・文章全体と部分との関係に注意しながら、登場 人物の設定の仕方を捉 えること。

改善の方向

◇話し合い活動の充実

・相手の立場や状況を考 えて話し方を工夫する学 習活動の充実を図る。

◇作文活動の充実

・文章を書くだけではなく、書いた文章を観点に、 書いた文章を観点に 沿って交流し、読み手の立場に立って文章を整えたり、自分の表現に役立てありするような学習活動の充実を図る。

◇読書活動の充実

- ・これまでに学んだこと を生かし、新たなものの 見方や考え方を発見した りするような学習内容の 充実を図る。
- ・文脈の中における語句 の意味や描写に注意して 読むような学習内容の充 実を図る。

※様々な学習場面で、対 話や発表などを意識した 授業の工夫改善を進め る。

記号の意味

(◎)上回っている
(○) やや上回っている+3%
(□) でや「回っている+3%
(□) でや「回っている-3%
(□) 下回っている ※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

【中学校 数学】

本校の概要

学習指導要領の領域等

- ◎「数と式」の平均正答率・全国平均に比べ、上回っている
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「図形」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「関数」の平均正答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。
- ◎「データの活用」の平均正 答率
- ・全国平均に比べ、上回っている。

今回の調査における課題

- ◆「数と式」の課題 式の意味を読み取り、成り 立つ事柄を見だし、数学的 な表現を用いて説明する 数学的な表現を用いて説 明すること。
- ◆「図形」の課題
- ・ある事柄が成り立つこと を構想に基づいて証明す ることができること。
- ◆「関数」の課題
- ・事象を数学的に解釈し、 問題解決の方法を数学的 に説明すること。
- ◆「データの活用」の課題 ・相対度数の意味を理解し ているかどうかをみるこ と。

改善の方向

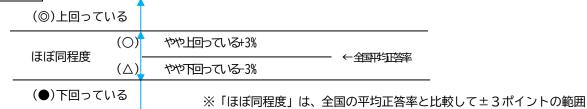
◇式を読み直し、ほかに もいえる性質を見つける など、式の見方を豊かに させるよう、話し合い活 動などを取り入れ、 10 な発想を引き出す活動を 充実させる。

◇自分の考えや他者の考えを交流し、多様な考えに気付ける活動を充実させる。

◇表や数値、式、グラフを 用いるなど、関数の意味 を深く理解し、課題に対 しての「用い方」「答え方」 「表現の仕方」などを明 確にして課題解決の方法 を考える活動を充実させ る。

◇データを整理し、分析する方法だけでなく、統計的な問題解決の一連の流れを理解できるような活動を充実させる。

記号の意味



【中学校 理科】

本校の概要

学習指導要領の領域等

- ◎「生命」の平均正答率
- ・全国平均に比べ上回っている。
- ◎「物質」の平均正答率
- ・全国平均に比べ上回っている。
- ◎「地球」の平均正答率
- ・全国平均に比べ上回っている。
- ◎「粒子」の平均正答率
- ・全国平均に比べ上回っている。

今回の調査における課題

「生命」の課題

・人体内部のようなミクロなつくりに関すること。特に、呼吸などの生命を維持するはたらきに関する正確な知識の習得。

「物質」の課題

・元素記号で表すことに関する知識の習得。

「地球」の課題

・地層の広がり方や重なり 方のようなイメージしに くいこと。特に、土地の様 子とボーリング調査の結 果から、ある地点の地層の 重なり方を推定すること。

「エネルギー」の課題

・回路の電流・電圧と抵抗・ 熱量の関係性に関する知 識の習得。

「実験」に関する課題

・考察の信憑性を得るため に必要な追加実験、仮説と 結果との対応、予想が反映 された振り返りのような 課題探究的なサイクルが なされているか。

改善の方向

「生命」の改善方向

・目に見えにくい細胞や 人体内部のつくりをイメ ージしやすくするため に、動画や模型を用いた 授業作りを行う。

「物質」の改善方向

・授業の始めに基本的な事項を覚えているか確認プリントなどを行う。3年生ではイオン式が出てくるので、元素記号の定着は必須。

「地球」の改善方向

・PowerPoint のアニメーション機能を利用して地層のでき方を提示したり、クロームブック上で地層の観察を行うソフトの使用などを通して地層の形成の流れを図る。

「エネルギー」の改善方向・エネルギーというものがどのようなものなのかを最初にイメージさせる。また、エネルギーの変換という視点を意識した授業作りを取り入れる。

「実験」の改善方向

・実験を行う必要性、なぜ その実験道具を使うのか、 実験結果から予想で調べた いと思ったことが分かった のかなど、実験やレポート の取り組み方の部分で改善 できる部分があると思われ る。

記号の意味

(◎)上回っている
 はぼ同程度
 (△) やや口つている・3%
 (●)下回っている
 ※「ほぼ同程度」は、全国の平均正答率と比較して±3ポイントの範囲

【生徒質問紙調査より】

◇肯定的な回答の割合が高いもの

サイド 関係 関係 第 項	北辰中	全 国
朝食を毎日食べますか	90.9%	91. 2%
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	83.6%	81.0%
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	89. 7%	92.6%
自分には、よいところがあると思いますか	90.9%	86. 2%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	95. 7%	95.9%
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	92.1%	92. 2%
人が困っているときは、進んで助けていますか	90.9%	90.9%
学校に行くのは楽しいと思いますか	80.6%	86. 1%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	95. 7%	96.6%
友達関係に満足していますか	91.5%	91.4%
普段の生活の中で幸せな気持ちになることはどれくらいありますか	92.8%	91.6%
分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を 考え、工夫することはできていますか	80.0%	77. 5%
授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか	88. 5%	91. 9%
総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	88. 7%	82. 2%
道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合った りする活動に取り組んでいますか	94. 0%	91. 5%

◇肯定的な回答の割合が低いもの

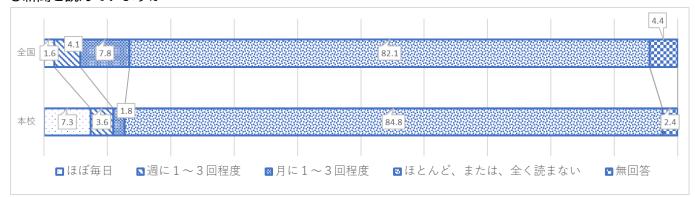
質 問 事 項	北辰中	全 国
2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどの ICT 機器を、どの程度使用しましたか (ほぼ毎日の割合)	15. 1%	53. 2%
将来理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか (肯定的な回答の割合)	20.0%	21. 7%

◇PC・タブレットなどの ICT 機器を使用したスキルに「できる」と回答した割合

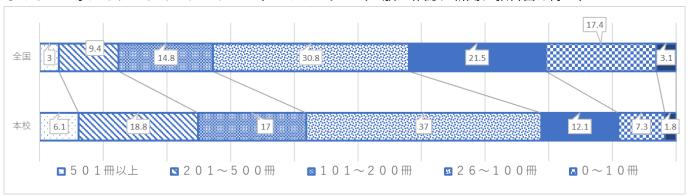
	=		
質 問 事 項	北辰中	全 国	
文章を作成する	90.3%	83.6%	
情報を収集する(検索、調べる)	94.5%	91.5%	
情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)	70.3%	63.3%	
プレゼンテーション(発表のスライド)を作成する	76. 3%	76.6%	

◇新聞、書籍等の本校生徒と全国の比較

○新聞を読んでいますか



○あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般に雑誌、新聞、教科書は除く)



◎今年度の調査結果からも、肯定的な回答の項目が多く見られ、本校生徒の高い学習意欲や前向きな意識が うかがえました。札幌市の重点課題である「自分のよさや可能性に気づく」という観点においては、全国平 均が 86.2%であったのに対し、本校3年生は 90.9%という高い結果となっており、自己肯定感の高まりが 感じられます。

◎本校の特徴として、家庭の蔵書数が全国平均を大きく上回っており、生徒一人ひとりの読書量の多さが、 多様な学びや思考力の育成につながっていると考えられます。また、新聞購読に関しては、全国的な傾向と 同様に年々減少傾向にあるものの、毎日目を通している生徒も一定数おり、その割合は全国平均を上回って います。これらのことから、生徒の社会への関心が日常的に高いことがうかがえます。

◎各教科への関心も高く、全国の数値を上回る項目が多く見られました。日々の授業において、基礎・基本 の積み重ねを重視した取り組みが定着しており、その成果が表れていると感じます。これは、生徒の努力は もとより、保護者の皆様や地域の皆様のご協力があってこそ実現できている学習基盤であると感じております。

◎学習の場面における ICT 機器の使用回数は全国平均を下回る結果となりましたが、使用スキルや活用の的確さは、全国とほぼ同等であり、場面に応じた効果的な活用がなされていることがわかりました。毎時間の使用には至っていないものの、本校では、ICT 機器に依存しすぎない丁寧な学びや、思考の過程を大切にする学びが基本となっております。今後は、より効果的な ICT 活用の在り方についても模索しながら、教育の質の向上に取り組んでまいります。

今後も本校の教育活動を通して、子どもたちの声を聴き、子どもたちが学びを深め、確かな成長が実感できる学校づくりを進めてまいります。